

JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

info@jhu-wing.main.jp<https://jhu-wing.main.jp/>**番外編**

12月22日 事務折衝「業務委託（4回目）」報告：その4

支援者から社長宅へのハガキは違法行為?!

12月21日（12/22業務委託に係る事務折衝前日）、会社より「申入書」が届きました。「申入書」には、支援者による社長宅へのハガキ送付は「社長とその家族の平穩を侵害する違法行為である」「今後同様の行為が繰り返された場合、法的措置を含む方策を講じる用意があることを警告する」と記されていました。以下はこの「申入書」に係る質疑の報告です。（参照：「申入書」は3ページ目に添付）

“沈まぬ太陽”の映画化、テレビドラマ化でも原作者の山崎豊子氏に対して「警告文」発信

【JHU】12月21日付の「申入書」、所謂「警告文」について、組合の考えを話しておきたい。文書の中に「社長と家族の私生活の平穩を侵害する違法行為である」とあるが、どこが違法行為なのか確認したい。私生活の平穩を乱されたのは、首を切られた人だ。「法的措置を含む方策を講じる」とも警告している。

「沈まぬ太陽」の映画化にあたり、原作者の山崎豊子氏に対し、文書で警告を発したことが、2009年10月21日の社内報「ルート・エクスプレス」に出ている。実際に映画化されテレビドラマ化されたが、山崎豊子氏には警告の後、どうなったのか。

《会社》山崎さんのことはここで話す事ではない。とにかく今回、「申入書」という形にしたので、ぜひ検討して頂きたい。

【JHU】この件に関しては、我々が検討することではない。

《会社》どういうことか。ハガキは色々な団体に皆さんが依頼したわけで、皆さんのコントロール下の施策ですよ。

【JHU】違う。

《会社》北部集会で社長宛ハガキを引き受けて頂きましたとある。皆さんがお願いしたのではないのか。

【JHU】違う。支援者が自主的にやっていることだ。我々は支援者の方がこういう運動をやっています、皆さんも協力してもらえますかという話をする。皆さん支援者だから。

《会社》仮に支援者から始まったとしても、皆さんから支援者に対して言うことはできますよね。

**必要のない解雇をして、
我々の私的領域を破壊したのは会社だ！！
社長も会社もそこが分かっていない！**

【JHU】我々に何が言いたいのか。

《会社》一緒に住んでいる家族のことを想像できますか。私的領域にまで入り込んで。団体交渉も事務折衝もこうしてやっている。

【JHU】～皆で抗議～ あなた方は我々の方を想像できますか。あなた方は、必要のない解雇をして我々の生活、私的領域を破壊した。

《会社》それは裁判で決まって、それを乗り越えた上で、こうして話をしている。

【JHU】社長が解決に踏み出すと言って4年以上が経つ。まもなく5年になろうとしている。

《会社》社長は解決したいという意味は示している。【JHU】得られますね。

そのために今年は業務委託も提案している。

【JHU】赤坂祐二氏は、家に帰っても日本航空の代表取締役社長だ。労使交渉だけでは何も解決しない。我々は当然労使交渉以外に運動もやる。

《会社》運動それ自体をどうこう言っていない。皆さんからそういう事を止めてくれと言うことはできますよね。

【JHU】なぜそれを組合が言わなければならないのか。

《会社》ハガキを自宅に送るのを止めてくれと言っているだけです。これ共感得られますかね。

支援者が、ハガキを買って、社長宅に送るのは 違法行為なのか？

会社：・・・(沈黙)・・・、違法行為は違法行為です

【JHU】支援者に対して、違法行為とまで言っている。どういう法律に違反しているのか。

《会社》申入書の通りです。

【JHU】何も書いてないから聞いている。

《会社》・・・～沈黙～、違法行為は違法行為です。

【JHU】道路交通法にでも違反するのか。

《会社》そんな訳ないですよ。申入書がもうザッツオールです。

《会社》社長は当社の代表として対応しているのであって、社長個人の私的問題として対応しているものではありません。自宅に対して大量のハガキを送る行為は、社長とその家族の私的生活の平穏を侵害する違法行為であり・・・～紛糾～

【JHU】だから何の法律に違反するのか。

《会社》私的生活を侵害する。

【JHU】支援者が、ハガキ代を払って社長宅にハガキを送るのは違法行為なのか。

《会社》私的生活の平穏を侵害する違法行為である可能性があるということだ。

【JHU】私的生活を侵害する法律があるのか。

《会社》ご検討頂きたいと申入書の通りです。

【JHU】ご検討ではない。刑事告発するぞと恫喝している。

《会社》申入れじゃないですか。

【JHU】本文の最後に「警告する」と書いてある。何とか運動を止めて貰えないかというお願いのために、この文書を出したということか。

《会社》運動をやめて下さいなんて一言も言っていません。

【JHU】文書には書いてないが、会社は、支援者に止めて貰うように言ってくれと先ほどから何度も発言している。

《会社》また揚げ足を取っていますけど、運動止めるとは一言も言ってませんよね。

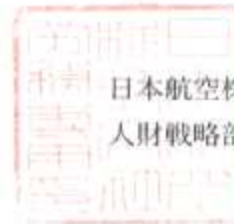
【JHU】交渉で解決することをやっているんだから、止めて貰うよう皆さんから言って貰えませんか。先ほど言った。

《会社》法律以前に、自宅に送るのを止めて下さいという申入れです。

【JHU】この文書にはその様なことは書かれていない。違法行為ときたら支援者だって驚く。過去の労働運動の中で、色んな争議で支援者が代表者のお宅にハガキ作戦を行って捕まった人は一人もいない。違法行為とくると黙ってはいられない。何の法律に違反しているのか。これは単なる文書のやりとりだけではすまない。

《会社》・・・～沈黙～

JAL 被解雇者労働組合
委員長 [REDACTED]



日本航空株式会社
人財戦略部長 [REDACTED]



申入書

会社は、貴組合に対して以下のとおり申し入れます。

本年9月以降、当社社長の自宅宛てに「JAL 不当解雇争議の解決を求めます!」と題する内容が記載された葉書が頻繁かつ多数送り付けられる事態が生じており、現在までに500通を超える枚数になっています。送付された葉書は全て同様の内容であり、「私は、JAL 被解雇者労働組合 (JHU) が要求する『希望者の現職復帰』と『解決金の支払い』を支持します。」、「1日も早い日本航空の誠意ある対応を希望します。」との定型的な文言が印刷されており、差出人は、個人または団体となっています。

いうまでもなく、整理解雇を巡る労使紛争は使用者である当社と被解雇者との労働契約の解消に係る組織的問題であり、社長は当社の代表者として対応しているのものであって、社長個人の私的問題として対応しているものではありません。それにもかかわらず、上記のような大量の葉書を社長の自宅に送りつける行動は、社長とその家族の私的生活の平穏を侵害する違法行為であり、たとえ支援活動の一環としても許されるものではありません。

本件送付行為は、貴組合を支援する個人または団体からなされた形を取っていますが、内容が貴組合の要求事項に関する定型的なものであり、かつ、大量に送付されている実態からすると組織的活動というべきであって、貴組合の関与は否定できないものと思料します。よって、会社は貴組合に対して、このような不当な社長宅への葉書の送付行為を直ちに停止させるよう強く求めます。もし、今後同様の行為が繰り返された場合、当社は法的措置を含む方策を講じる用意があることを付言し、警告します。貴組合の真摯な対応を求めます。

以上